

年表 a chronological table

年 月 日	主 な 出 来 事
昭和 23年 5. 1	- 海上保安庁法施行 - 広島海上保安本部設置(庶務、保安、海務、灯台の4課と掃海部) - 本部の事務所として、高松・境・浜田各海上保安部、玉野・尾道・徳山・今治各海上保安署設置
7. 16	- 港則法施行 - 坂出、新居浜、今治、境、宇野、浜田、尾道糸崎、呉、広島、岩国、徳山下松、萩の12港に港長事務所設置
24年 1. 1	船舶検査事務を運輸省船舶局から移管
4. 1	笠岡水路観測所が本庁から本部所属
6. 1	- 組織改正、本部は総務・警備救難・保安・水路灯台の4部に拡充 - 航路標識法施行 - 六管航行警報業務開始
6. 24	デラ台風来襲、客船「青葉丸」沈没、135名が死亡又は行方不明
25年 6. 1	- 広島海上保安本部は第六管区海上保安本部と改称(海上保安管区制)、鳥根県、鳥取県は第八管区(舞鶴)へ、山口県の山陰側は第七管区(門司)へ移管 - 本部は総務、警備救難、海事検査、水路、灯台の5部と航路啓閉部に整備 - 本部の事務所として広島、玉野、尾道、高松、松山の5海上保安部、呉、岩国、徳山、坂出、新居浜、今治の6海上保安署設置 - 港長事務所を廃止し海上保安部署に統合
7. 15	海上保安署は警備救難署と改称
7. 16	水路業務法施行
11. 15	笠岡水路観測所倉敷分室設置
26年 4. 1	広島海上保安部大島分室設置
6. 8	玉島灯台設置
6. 15	地蔵崎灯台及び同霧信号所設置
9. 15	松山海上保安部宇和島分室設置
27年 1. 1	本部通信所設置
1. 4	米国太平洋沿岸水路告示により瀬戸内海一貫航路の安全宣言発布
3. 12	設標船「ほくと」就役
4. 26	本部に経理補給部設置
8. 1	- 船舶検査事務を海運局へ移管、海事検査部廃止 - 航路啓閉部を保安庁へ移管 - 広島海上保安部工作所設置
28年 4. 1	笠岡水路観測所倉敷分室を倉敷観測所に、笠岡本所は分室に変更
8. 1	管内35箇所に航路標識事務所設置
10. 1	徳山警備救難署が海上保安部に昇格
29年 11. 1	坂手警備救難署設置
30年 3. 1	松山海上保安部宇和島分室が警備救難署に昇格
5. 1	倉敷水路観測所笠岡分室廃止
5. 11	国鉄連絡線「紫雲丸」衝突、沈没し168名が死亡又は行方不明
8. 10	- 本部に船舶技術部設置 - 尾道、徳山、高松各海上保安部に灯台課設置、尾道港、徳山港、高松港各航路標識事務所廃止 - 警備救難署は海上保安署に改称 - 鯛尾航路標識事務所設置
8. 25	船舶技術部工作所設置、広島海上保安部工作所廃止
10. 5	呉海上保安署が海上保安部に昇格
32年 1. 10	高松海上保安部通信所設置
4. 1	松山海上保安部通信所設置
4. 12	旅客船「第5北川丸」乗揚げ、沈没し113名が死亡又は行方不明
8. 1	広島航空基地設置
11. 1	呉海上保安部木江分室・徳山海上保安部室津分室・松山海上保安部三机分室設置
33年 2. 1	徳山海上保安部室津分室は上関分室と改称
2. 19	日振島灯台設置、管内初の自動制御及び無線灯火監視装置装備
7. 15	- 今治航路標識事務所設置(今治港、観音寺港、伯方、中渡島、大下島各航路標識事務所を集約) - 佐島航路標識事務所廃止
12. 27	高井神島航路標識事務所を今治航路標識事務所に集約
34年 11. 23	周防筏瀬灯標設置、我が国で初めて光源に太陽電池を使用
35年 4. 1	上関航路標識事務所設置(室津港・八島・沖家室各航路標識事務所を集約)

年 月 日	主 な 出 来 事
36年 4. 1 10. 1 12. 1	・宇和島航路標識事務所設置(宇和島港・佐田岬・大崎各航路標識事務所を集約) ・呉海上保安部通信所設置 ・玉野海上保安部水島分室設置
37年 4. 1 9. 11 10. 1	・今治海上保安署が海上保安部に昇格、今治航路標識事務所廃止 ・巨大船就航に伴う航路の精測(37年9月～44年11月) ・大浜埼、高根島、大久野島、百貫島各航路標識事務所を尾道海上保安部に、クダコ島航路標識事務所を松山航路標識事務所に集約
38年 4. 1 8. 1	・宇和島海上保安署が海上保安部に昇格、宇和島航路標識事務所廃止 ・釣島航路標識事務所を松山航路標識事務所に集約 ・松山港長設置
39年 5. 20 6. 1	・巡視船「こじま」(1,100トン型)就役 ・広島海上保安部大島分室及び玉野海上保安部水島分室が海上保安署に昇格 ・徳山海上保安部下松分室設置
昭和 40年 4. 1 7. 1	・鍋島航路標識事務所を丸亀航路標識事務所に集約 ・高松港長設置
昭和 41年 4. 1 7. 1 11. 13	・今治海上保安部通信所設置 ・福山海上保安署設置 ・全日空機YS11「おりんぴあ号」墜落、50名全員が死亡又は行方不明
昭和 42年 1. 10 3. 25	・福山港長設置 ・設標船「みょうじょう」就役、当庁が建造した初の双胴船
昭和 44年 4. 1 5. 1	・六島航路標識事務所を玉島航路標識事務所に集約 ・瀬戸デッカ航路標識事務所設置
昭和 45年 5. 12	・旅客船「プリンス」乗取り事件
昭和 46年 4. 1 6. 24	・警備救難部に海上公害監視センター設置 ・海洋汚染防止法施行
昭和 47年 5. 1	・大島海上保安署廃止、広島海上保安部大島分室設置
昭和 48年 7. 1	・海上交通安全法施行
昭和 49年 4. 11 4. 12 4. 25 12. 18	・水島海上保安署が海上保安部に昇格 ・高松海上保安部通信所廃止(瀬戸内海東部統制通信事務所に統合) ・水島港長設置 ・セメントタンカー「第8陽周丸」転覆、2名死亡5名行方不明 ・三菱石油(株)水島製油所重油流出事件
昭和 50年 10. 1	・瀬戸内海西部統制通信事務所設置、本部及び呉、徳山、松山、今治各海上保安部通信所廃止 ・来島大角鼻潮流信号所設置
昭和 51年 7. 2 9. 13	・フェリー「ふたば」衝突、沈没し3名死亡2名行方不明 ・台風17号来襲による災害救助活動
昭和 52年 4. 6	・タンカー「アストロレオ号」衝突、炎上、原油350klが流出
昭和 53年 4. 5 9. 6	・広島航路標識事務所設置(広島、屋形石、安芸白石、鯛尾各航路標識事務所を集約) ・カーフェリー「さいとばる」衝突、沈没
昭和 55年 4. 24	・伊方原子力発電所核燃料輸送に伴う警備
昭和 57年 4. 6	・小豆島航路標識事務所設置、大角鼻、地蔵埼各航路標識事務所廃止
昭和 58年 4. 5	・美星水路観測所設置、倉敷水路観測所廃止 ・柳井航路標識事務所設置、上関航路標識事務所廃止 ・秋穂航路標識事務所廃止
昭和 59年 4. 17 8. 5	・貨物船「第5幸陽丸」衝突、沈没し2名死亡 ・プレジャーボート「TAIYO - 1」衝突、2名死亡2名重傷

年表 a chronological table

年 月 日	主 な 出 来 事
昭和 60年 4. 6	・広島海上保安部柳井分室設置、広島海上保安部大島分室廃止 ・徳山海上保安部三田尻中間分室設置、徳山海上保安部上関分室廃止 ・今治海上保安部三島川之江分室設置 ・松山海上保安部三机分室廃止 ・瀬戸デッカ航路標識事務所廃止、(北九州デッカ航路標識事務所に統合)
昭和 61年 7. 14	・フェリー「おくどうご6」、ケミカルタンカー「三典丸」、油タンカー「伊勢丸」衝突
昭和 62年 5. 21 10. 23	・備讃瀬戸海上交通センター設置 ・男木島航路標識事務所廃止、高松海上保安部に集約 ・砂利運搬船「松丸」、「竹丸」転覆、5名全員が死亡
昭和 63年 4. 8 4. 14 10. 16 12. 7	・灯台部信号施設課設置 ・曳船「第8幸陽丸」衝突、31名が重軽傷 ・観光船「光1号」炎上し沈没 ・廃油処理船「第2ブルーオーシャン」が爆発炎上、1名死亡
平成元年 5. 2 5. 27 5. 29 9. 10	・自動車運搬船「ORANGE CORAL」衝突し沈没 ・「第1回 本部観閲式及び総合訓練」実施 ・船舶技術部工作所廃止 ・天皇・皇后両陛下広島県行幸啓に伴う警衛(安浦町)
2年 5. 4	・カーフェリー「おれんじ」、カーフェリー「おれんじくいーん」衝突、19名が負傷
3年 2. 8 2. 20 9. 17 9. 27 10. 30	・海上保安友の会岡山支部発足 ・水中翼船「こんどる3号」、音戸瀬戸で被曳航台船と衝突、55名が負傷 ・海上保安友の会広島支部発足 ・超大型台風19号来襲 ・海上自衛隊掃海部隊帰港に伴う警備実施
4年 3. 8 4. 9 4. 12 5. 30 6. 3 9. 13 12. 12	・瀬戸内海にサメ出没、騒動 ・中国共産党江沢民総書記等瀬戸大橋視察に伴う警衛 ・山口大学ヨット集団転覆、14名漂流うち1名死亡 ・総合訓練・体験航海実施、海上保安友の会広島支部会員ほか市民2,000名が巡視船えちごに乗船(5月30日～31日) ・カーフェリーの活魚運搬車、連続火災発生 ・PKO派遣に伴う海上警備実施 ・プレジャーボート「旅路」、作業船「リバー号」衝突、6名死亡
5年 3. 11 5. 14 9. 24 9. 25 11. 3 12. 9	・巡視船「こじま」(3,000トン型)就役 ・カドミニウムを含む排水垂れ流しを摘発 ・ロシア船乗組員、大麻・阿片不法所持摘発 ・総合訓練・体験航海実施、海上保安友の会広島支部会員ほか市民1,800名が練習船「こじま」に乗船(9月25日～26日) ・天皇・皇后両陛下愛媛県行幸啓に伴う警衛(豊漁祭:森漁港) ・広島航空基地を新広島空港に移転し運用開始
平成 6年 2. 8 4. 1 5. 1 7. 5 9. 17 10. 2 11. 6	・パナマコンテナ船「SEA XPOTER」、ホンジュラス貨物船「WIDE EARN」衝突、W号沈没7名行方不明 ・松山航路標識事務所移転 ・「廃船指導票」の導入(平成7年全国導入に先駆け実施) ・旅客船「サウンズオブパシフィック」火災、乗員乗客43名総員を無事救助 ・総合訓練・体験航海実施、海上保安友の会広島支部会員ほか市民1,800名、練習船「こじま」に乗船(9月17日～18日) ・広島アジア大会に伴う警衛・警護・警戒(10月2日～16日) ・上関原発立地環境調査用資材搬入に伴う海上警備(11月6日～7日)
平成 7年 3. 22 4. 1 7. 8 9. 25	・上関原発立地環境調査用ボーリング台搬入に伴う海上警備(3月22日～23日) ・警備救難部企画調整官設置、海上公害課を海上環境課に改組 ・漁船「大黒丸」が帆走中のヨット及び同ヨットに曳航されたゴムボートに衝突、高校生1名死亡2名負傷 ・総合訓練・体験航海実施、官公庁関係者ほか約700名が練習船「こじま」に乗船(9月24日は台風14号の影響により中止)
平成 8年 6. 24 9. 29 12. 10 12. 26	・パナマ貨物船「CREST UNITY」、自動車運搬船「第二光洋丸」衝突、「第二光洋丸」が沈没、乗組員3名死亡1名行方不明 ・総合訓練・体験航海実施、海上保安友の会広島支部会員ほか市民約800名が練習船「こじま」に乗船(9月30日は荒天のため中止) ・韓国海軍練習艦隊3隻の呉入港に伴う海上警備(12月10日～15日) ・水島海上保安部は、船員手帳偽造による不法入国者7名と帮助犯2名を逮捕
平成 9年 4. 1 9. 28 9. 29	・通信課を情報通信課に改組 ・総合訓練・体験航海実施、海上保安友の会広島支部会員ほか市民約1,800名が練習船「こじま」に乗船(8月28日～29日) ・日本に残る唯一のスカイバンMA803(あきたか)解役

年 月 日		主 な 出 来 事
平成 9年	10. 1 12. 24	・来島海峡海上交通センター発足 ・備讃海域排出油防除協議会連合会設立
平成 10年	1. 1 4. 1 5. 1 5. 1 5. 12 5. 25 6. 13 7. 15 7.19～8.2 7. 25 10. 25	・来島海峡海上交通センター運用開始 ・大浜及び瀬戸ディファレンシャルGPS局が運用開始 ・第六管区海上保安本部創設50周年 ・ホンジュラス船B B No11乗組員4名を集団密航事件(114名)の幫助犯罪として逮捕(玉野) ・「瀬戸内海・宇和海の海上保安50年史」の発行 ・広島、岡山、愛媛、香川各県における海砂不法採取事件解明(平成9年末から) ・備後灘伊予灘排出油防除協議会連合会、広島湾排出油防除協議会連合会設立 ・周南地区海上安全対策協議会と関門・宇部海域油災害協議会との相互応援協定締結 ・第13回「海の祭典」への協力<海の総合展(7月19日～8月2日)、海上保安庁音楽隊コンサート(7月19日、20日)、記念式典(7月22日)、総合訓練・体験航海(7月26日)> ・創設50周年記念総合訓練・体験航海実施、海上保安友の会広島支部会員のほか市民約2,100名(26日を含む)が巡視船「みずほ」に乗船 ・韓国貨物船「CHUNIL」が乗り揚げ、重油流出事故発生
平成 11年	2. 28 3. 24 3月～7月 4. 1 4. 1 4.28～5.2 6. 14 9. 24 10. 12 11. 23 12.31～1.1	・備讃海域こませ網操業状況図(ポーリングFAX)の提供海域拡大 ・カンボディア貨物船VIVAに潜伏していた、中国人密航船を警察と合同により発見し、中国人密航者22名と、同船乗組員8名を逮捕(尾道、福山) ・管内5県(香川、広島、岡山、愛媛、山口)に水難救済会発足 ・小豆島航路標識事務所廃止、高松海上保安部に集約 ・沿岸域情報管理システムの運用開始 ・西瀬戸自動車道開通に伴う皇太子同妃両殿下下行啓警衛実施 ・パナマ貨物船EL DORADOから逃走した中国人密航者16名を警察と合同で捜索し、隠れていた全員を逮捕(尾道) ・台風18号による船舶海難多発、航路標識に甚大な被害発生 (9.26.27予定の総合訓練・体験航海を中止して海難処理、航路標識の復旧に対応) ・港湾EDIシステム運用開始 ・フィリピン貨物船COPILCOがタンカー豊晴丸、貨物船豊星丸に相次いで衝突、豊晴丸が転覆、重油流出事故発生 ・コンピュータ西暦2000年問題(Y2K)への対応
平成 12年	5. 1 5. 2 5.13～14 9. 21 10. 29	・緊急通報番号「118番」運用開始 ・第六管区海上保安本部と海上自衛隊31航空群との海上における災害派遣に関する協定転結 ・「海上保安の日」制定に伴う各種行事実施 ・管内初の世界測地系海図第W1136号(岩国港)刊行 ・総合訓練・体験航海実施 海上保安友の会広島支部会員ほか市民約1,700名が練習船「こじま」に乗船(10月29日～30日)
平成 13年	3. 16 3. 24 5. 3 9. 5 10. 5 8～10 11. 25 11. 29	・海上保安友の会香川支部発足 ・平成13年芸予地震により、航路標識に甚大な被害発生 ・貨物船タスマン・バイオニア号浸水海難 (16日間に亘り巡視船艇等135隻、航空機14機を動員、沈没を回避するとともに油流出を未然に防ぐ) ・あきたかMA870就役 ・六管区水路通報39号から印刷物による提供廃止 ・広島で異常潮位現象が続く(8月下旬～10月中旬) ・海上自衛隊補給艦とわだ出港に伴う警備実施 ・海上保安庁音楽隊演奏会(広島南区民文化センター)
平成 14年	1. 1 2. 16 4. 1 5. 31 6. 1～6.30 6. 5 9. 24	・松山沖養殖真珠窃盗事件の被疑者を現行犯逮捕 (123日、延べ捜査員429名にわたる内偵捜査に終止符を打つ) ・海上保安友の会愛媛支部発足 ・水路部、組織改編により、海洋情報部に名称変更 ・広島、呉、尾道、徳山、今治各海上保安部に航行援助センターを設置 ・広島及び柳井航路標識事務所廃止 ・管内海上保安部の資金前渡官吏等の廃止 ・W杯サッカー大会に伴う海上警備 (本部に安全対策本部、松山に現地対策本部設置) ・小豆島南北で同日に沈没海難 (小豆島南方では、貨物船「ROSE RIVER 号」と「眉山丸」が衝突、「眉山丸」沈没し2名死亡。北方では、貨物船「第八福吉丸」と「第二十一盛栄丸」が衝突、「第八福吉丸」沈没し、乗組員は全員救助) ・広島港で密出国事件 (海田コンテナパース着岸中のパナマ船籍「ウーヤン・クイン」内で、パスポートを持たない韓国人5名、中国人1名を発見、入管難民法違反(不法出国企図)の疑いで逮捕)

年表 a chronological table

年 月 日		主 な 出 来 事
平成 15年	3. 26	・ 20m型測量船「くるしま」就役、同型船で初の水質自動観測装置を搭載
	3. 27	・ 消防機能強化型巡視艇「なち」(徳山)、「ことびき」(岩国)就役
	4. 1	・ 組織改編により警備救難部航行安全課と灯台部を統合し、交通部が発足
		・ 広島海上保安部柳井分室が柳井海上保安署に昇格、同日設置
		・ 広島、呉、尾道、徳山、今治各海上保安部で沿岸域情報提供システム(MICS)運用開始
		・ 音戸ノ瀬戸で、ライブカメラにより狭水道出入口付近の情報を提供
		・ 松山航路標識事務所を廃止、松山海上保安部に航行援助センターを設置
	4. 30	・ 徳山海上保安部新庁舎完成、竣工
	7. 19	・ 突風による集団転覆海難発生(風速20mを越える突風により、管内で6隻の船舶が次々と転覆、乗船者29名が海中転落、内1名死亡)
	8. 25	・ 航空レーザー測量試験運用(検証)開始
	9. 9	・ 坂出港中国人集団密航事件(坂出港にて、パナマ船籍貨物船「HYOKI No8」乗り組みの中国人密航者3名及び受け取りの日本人1名を逮捕)
	12. 24	・ パナマ船籍ケミカルタンカー「SUN VENUS」爆発炎上、本部に中規模海難等対策本部設置 (徳山管内上関町祝島沖においてパナマ船籍ケミカルタンカー「SUN VENUS」が爆発炎上し、フィリピン国籍乗組員2名が行方不明)
平成 16年	1. 8	・ 小泉内閣総理大臣地方視察に伴う警護(巡視船乗船による香川県豊島視察)
	2. 14	・ イラク人道復興支援特別法に基づく海上自衛隊大型輸送艦おおすみ派遣に伴う海上警備(呉)
	4. 1	・ 警備救難部に国際刑事課を設置
	4. 1	・ 片上及び丸亀航路標識事務所を廃止し、玉野及び高松海上保安部に航行援助センターを設置
	4. 1	・ 松山海上保安部で沿岸域情報システム(MICS) 運用開始
	4. 20	・ 航空レーザー測量運用開始
	7. 1	・ SOLAS 新法施行、翌7月2日、巡視船「たかつき」が全国第1号となる洋上立入検査を実施
	8. 30	・ 台風16号来襲(宇和島管内由良半島南岸において、ベトナム船籍貨物船「VIHAN05」が走錨後乗揚げ、4名死亡又は行方不明)
	9. 7	・ 台風18号来襲(徳山管内笠戸島沖においてインドネシア船籍貨物船「TRIARDHIANTO」が走錨後乗揚げ、乗員22名全員が死亡又は行方不明、また、広島管内廿日市市港内において係留中のカンボジア船籍貨物船「BLUE OCEAN」が浸水転覆、乗員4名が死亡する等多数の海難が発生、庁舎、航路標識にも甚大な被害をもたらす)
	10. 3	・ 天皇・皇后両陛下香川県行幸啓に伴う警衛(豊漁祭：高松港)